

エレクtronのための記譜法

E-2

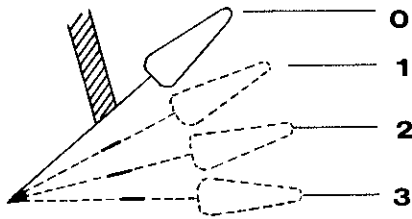


E-2 のための記譜法

- (1) トーンレバーの指定…………… 2
- (2) エフェクトレバーの指定…………… 3
- (3) トーンレバー・エフェクトレバーの記譜法… 3
- (4) パーカッションの指定…………… 4
- (5) サステイン（マニュアル）の指定…………… 5
- (6) 5つのレバーの指定…………… 6
- (7) 3つのレバーの指定…………… 6
- (8) 発想記号…………… 6
- (9) 上鍵盤・下鍵盤と上段・中段との関係…………… 7
- (10) 右手・左手と上鍵盤・下鍵盤との関係…………… 7
- (11) グリサンドの指定…………… 8

(1) トーンレバーの指定

トーンレバーの指定は、クリックストップの位置 0, 1, 2, 3 で示します。



- 0 はレバーを上げた状態 (この状態のトーンレバーは音が出ません。)
- 1 はレバーを1段下げた状態。
- 2 はレバーを2段下げた状態。
- 3 はレバーをいちばん下におろした状態(このときトーンレバーは音がいちばん強くなります。)

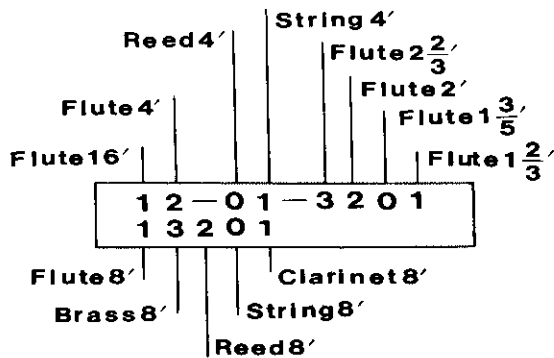
上鍵盤のトーンレバー

Flute 16' Flute 4' Reed 4' String 4'
 Flute 2 $\frac{2}{3}$ ' Flute 2' Flute 1 $\frac{3}{5}$ ' Flute 1 $\frac{2}{3}$ '
 Flute 8' Brass 8' Reed 8' String 8' Clarinet 8'

以上のトーンレバーの指定は、前に述べたクリックストップの位置であらわします。記入する数字の順序は、E-2のトーンレバーの配置順序と同一ですが、Flute 4' と Reed 4' String 4' と Flute 2 $\frac{2}{3}$ ' の間に一を入れます。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 0 | 1 | 3 | 2 | 0 | 1 |
| 1 | 3 | 2 | 0 | 1 | | | |

- この数字と音色との関係は、次の通りです。



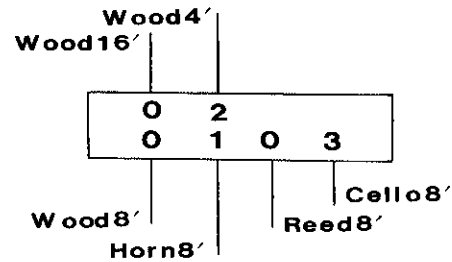
下鍵盤のトーンレバー

Wood 16' Wood 4'
 Wood 8' Horn 8' Reed 8' Cello 8'

以上のトーンレバーは次のように、クリックストップの位置で指定します。

| | |
|---|-------|
| 0 | 2 |
| 0 | 1 0 3 |

- この数字と音色との関係は次の通りです。



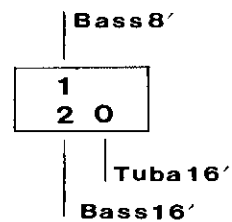
ペダル鍵盤トーンレバー

Bass 8'
 Bass 16' Tuba 16'

以上のトーンレバーは次のように指定します。

| |
|-----|
| 1 |
| 2 0 |

- この数字と音色との関係は次の通りです。



(2) エフェクトレバーの指定

Mandolin・Speed Mandolin
Vibrato・Speed Vibrato
Percussion

以上の5つのエフェクトレバーの指定は、トーンレバーと同様、クリックストップの位置0・1・2・3で示します。

●ビブラートは分数であらわします。

(例) Vib. $\frac{1}{3}$

この場合、分子の1はビブラートスピードのクリックストップの位置をあらわし、分母の3は、ビブラートのそれをあらわします。

●マンドリンスピードも同様に、分数であらわします。

(例) M. $\frac{2}{2}$

この場合もそれぞれ、分子がマンドリンスピードの位置を、分母がマンドリンの位置をあらわします。

●パーカッションについては、別項で、パーカッションボタンの指定とともに述べます。

(3) トーンレバー・エフェクトレバーの記譜法

エレクトーンの楽譜は3段に書き、上段には上鍵盤を、中段に下鍵盤を、下段にペダル鍵盤をそれぞれ記入します。

The diagram shows three staves of musical notation. Above the top staff, the fingerings for the upper keyboard are written as 1 2 - 0 1 - 3 2 0 1. Above the middle staff, the fingerings for the lower keyboard are written as 0 2 / 0 1 0 3. Above the bottom staff, the fingerings for the pedal keyboard are written as 1 / 2 0. To the right of the top staff, the effect settings are written as Vib. $\frac{1}{3}$ M. $\frac{2}{2}$.

●上、下、ペダル鍵盤のトーンレバーの指定は、それぞれ、上図のように、上、中、下段のうえに記入します。

●ビブラートは、上段のうえに、トーンレバーの指定の次に記入します。

●曲の途中でトーンレバーを変える場合は、はじめの指定と変わるレバーの数字の下へアンダーラインを引きます。

The diagram shows two rows of fingerings. The top row is 2 2 - 0 1 - 3 1 1 0, where the 1s under 3 and 1 are underlined. The bottom row is 1 3 2 0 1.

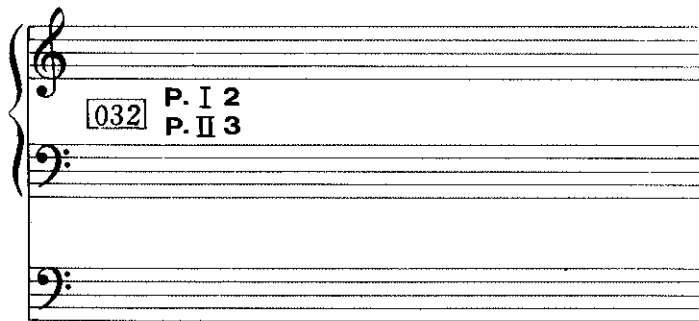
●マンドリン効果を使用する場合は、2)項で述べたようにM. $\frac{2}{2}$ のようであらわし、これを、Vib.の次の位置に記入します。

●曲の途中でマンドリンをOFFにするときは、その場所にM. $\frac{2}{2}$ OFFと記入します。

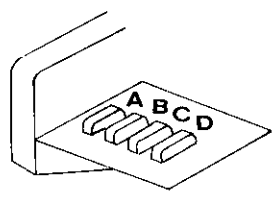
●マンドリン及びマンドリンスピードの深さを途中で変える場合は、M. $\frac{2}{3}$ のように、指定した数字を変更します。

(4) パーカッションの指定

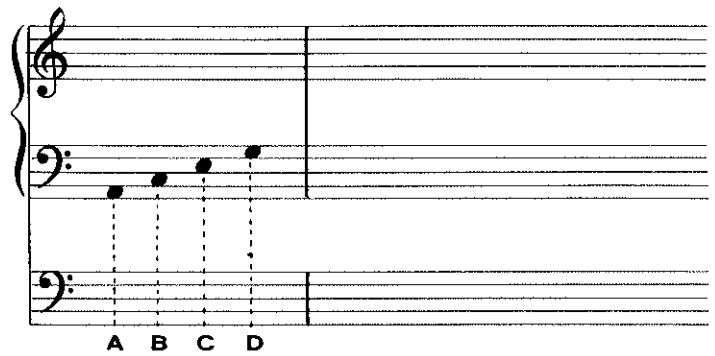
2つのパーカッションレバーは、それぞれを **P. I** **P. II** であらわし、その右に、**P. I.2**, **P. II.3** のように、クリックストップの位置を指定します。これを下図のように、上段と中段の間の下鍵盤の音色の表示の右に記入します。



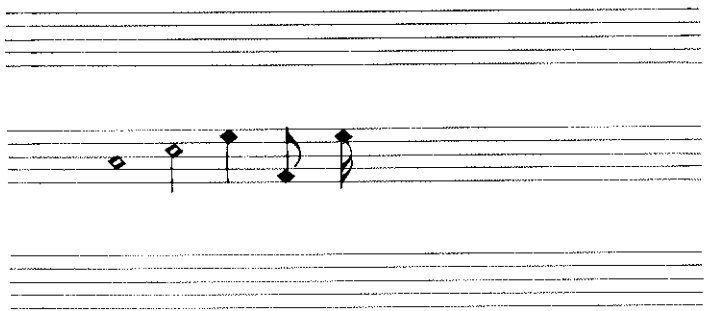
● パーカッションボタンは、仮に下図のように、**A, B, C, D**, とすれば



- A** は下鍵盤の五線の第一間
 - B** は下鍵盤の五線の第二間
 - C** は下鍵盤の五線の第三間
 - D** は下鍵盤の五線の第四間
- に菱形で書きます。



● 全音符、2分音符、4分音符、8分音符、16分音符
……の関係は普通の楽譜と全く同じです。



(5) サステイン(マニュアル)の指定

サステナーによって操作する上鍵盤の音のサステインは、上段と中段の間に **U.S.** で記入し、切る位置は のように示します。曲目の関係で、中段へ上鍵盤の音を書く場合、切る位置は のように示します。

A musical score snippet with two staves. The upper staff has a treble clef and contains two measures. The first measure has a dotted line labeled 'U.S.' starting from the first note and ending at the second note. The second measure has a dotted line labeled 'U.S.' starting from the first note and ending at the second note. Above the second measure, the text 'L.M.' is written. The lower staff has a bass clef and contains two measures, with a dotted line labeled 'U.S.' starting from the first measure and ending at the second measure.

●下鍵盤のサステインは **L.S.** であらわし、中段と下段の間に記入します。切る位置は同様に で示します。

A musical score snippet with two staves. The upper staff has a treble clef and is empty. The lower staff has a bass clef and contains two measures. A dotted line labeled 'L.S.' starts from the first measure and ends at the second measure.

●次の音へ入る瞬間に、今までかけていたサステインを一度切つてすぐにまたかけなおす場合は、下記のように記入します。

A musical score snippet with two staves. The upper staff has a treble clef and contains two measures. The first measure has a dotted line labeled 'U.S.' starting from the first note and ending at the second note. The second measure has a dotted line labeled 'U.S.' starting from the first note and ending at the second note. The lower staff has a bass clef and contains two measures. The first measure has a dotted line labeled 'L.S.' starting from the first measure and ending at the second measure. The second measure has a dotted line labeled 'L.S.' starting from the first measure and ending at the second measure.

●全曲を通して、または長い間サステインをかけ続ける場合は、下記のように記入します。

A musical score snippet with two staves. The upper staff has a treble clef and contains two measures. The first measure has a dotted line labeled 'U.S.' starting from the first note and ending at the second note. The second measure has a dotted line labeled 'sempre U.S.' starting from the first note and ending at the second note. The lower staff has a bass clef and contains two measures, which are empty.

●次の段まで続ける場合は下記のように記入します。

A musical score snippet with two staves. The upper staff has a treble clef and contains two measures. The first measure has a dotted line labeled 'U.S.' starting from the first note and ending at the second note. The lower staff has a bass clef and contains two measures. The first measure has a dotted line labeled 'L.S.' starting from the first measure and ending at the second measure. The second measure has a dotted line labeled 'L.S.' starting from the first measure and ending at the second measure.

A musical score snippet with two staves. The upper staff has a treble clef and contains two measures. The first measure has a dotted line labeled 'U.S.' starting from the first note and ending at the second note. The lower staff has a bass clef and contains two measures. The first measure has a dotted line labeled 'L.S.' starting from the first measure and ending at the second measure. The second measure has a dotted line labeled 'L.S.' starting from the first measure and ending at the second measure.

(6) 5つのレバーの指定

上鍵盤の左側にある5つのレバーは、左からブリリアンス、ペダルサステイン、ローワー・マニュアル・サステイン、アッパー・マニュアル、サステイン、ペダル・サステイン、マニュアル・バランスですが、それぞれ、**Bril. P. S. L. S. U. S. M. B.**の記号で表わします。入れる位置は、それぞれ、 $\cdot \uparrow \cdot$ のように、矢印で指定します。

●これらのレバーの記譜上の位置は、曲の最初ではVib.の下に、楽器の上の配置順序に従って、左から順に横に記して行きます。

Vib. $\frac{1}{3}$
 Bril. P. S. L. S. U. S. M. B.
 $\cdot \uparrow \cdot$ $\cdot \uparrow \cdot$ $\cdot \uparrow \cdot$ $\cdot \uparrow \cdot$ $\cdot \uparrow \cdot$

●曲の途中で、それぞれの指定を変えるときは、新しい指定をその位置に記入します。

●マニュアル・バランスについては、曲目の関係で右手または左手を鍵盤からはなすことができ、前の指定から次の指定へとゆるやかに変える必要がある場合には

M. B.
 $\cdot \uparrow \cdot$ のように表示します。

(7) 3つのレバーの指定

下鍵盤の右にある3つのレバーは、左からボイス、トレモロ、リバーブです。これは**Voice Trem. R.**の記号で表わし、位置の表示は、やはり矢印を用いて上段と中段の間、下鍵盤の音色の指定の右に記入します。

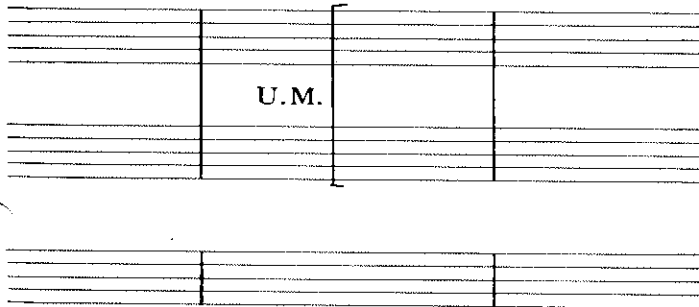
(8) 発想記号

pp *mf* *dim.* \longleftarrow などの発想記号は、中段と下段の間に記入します。

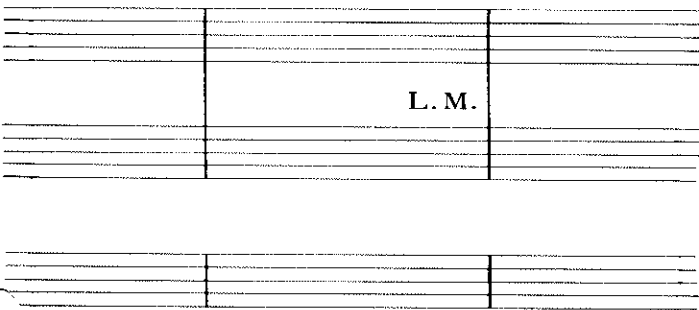
(9) 上鍵盤・下鍵盤と上段・中段との関係

原則として、上鍵盤の音を上段に、下鍵盤の音を中段に記入しますが、演奏法によって変わる場合には次のように表示します。

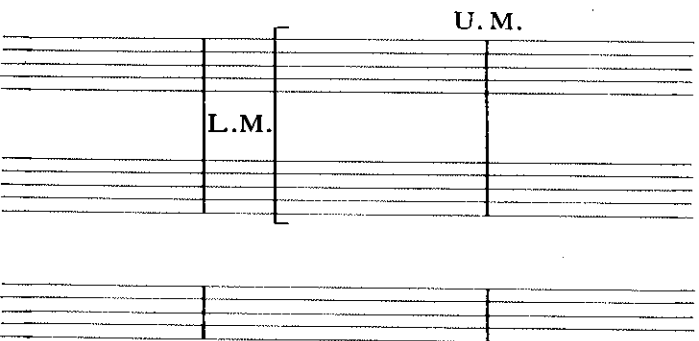
- 両手で上鍵盤を弾く場合には、下図のように記入します。



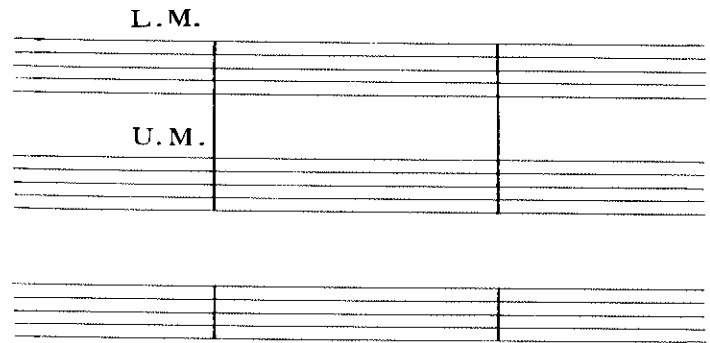
- ふつうの演奏法にもどる場合は、中段に、L.M.と記入します。



- この逆の場合、すなわち、両手で下鍵盤を弾く場合は、下図のように記入します。



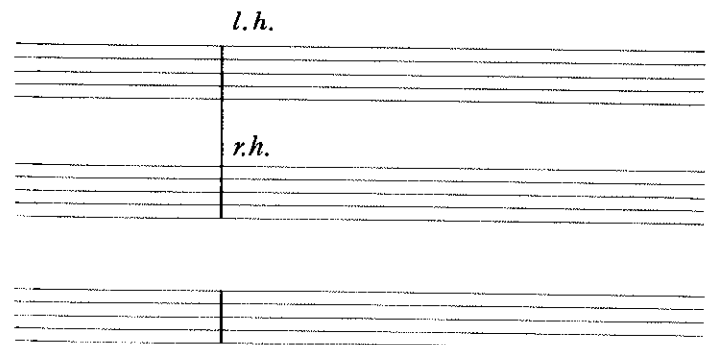
- 上鍵盤の音を中段に、下鍵盤の音を上段に記した方が、明らかに音楽的に理解しやすい場合には、次のように表示します。



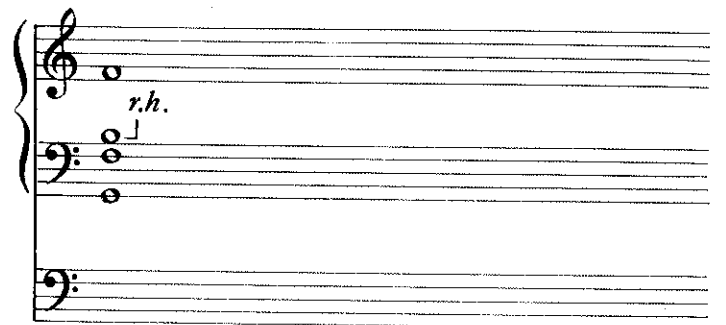
(10) 右手、左手と上鍵盤・下鍵盤との関係

特に指定がないときは、原則として、上鍵盤を右手で、下鍵盤を左手で演奏しますが、演奏法の都合で変わるときは、次のように表示します。

- 上鍵盤を左手で、下鍵盤を右手で演奏する場合は、下図のように記入します。



- 右手で上鍵盤を弾きながら、部分的に、下鍵盤を同時に弾く場合は、下図のように表示します。



(1) グリサンドの指定

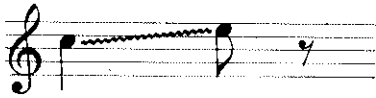
- 白鍵上のグリサンドは直線で指示します。



この場合、音は下図のようになります。



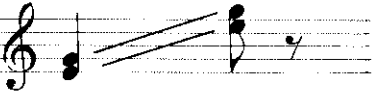
- 黒鍵の音も含むグリサンドは~~~~で指示します。



この場合、音は下図のようになります。



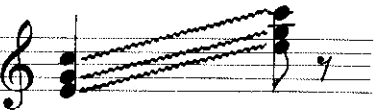
- 2つ以上の音から2つ以上の音へ、掌を使わずに弾くグリサンドは、下図のように直線で指示します。



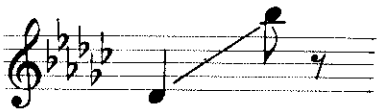
この場合、音は下図のようになります。



- 掌を使って弾くグリサンドは~~~~で指示します。



- 黒鍵のみのグリサンドは直線で指示し、「注・黒鍵のみ」と書き加えます。



注・黒鍵のみ

この場合、音は下図のようになります。



以上、上昇のグリサンドのみを記しましたが、下降の場合も全く同様です。

附記

トーンキャビネットR-1を接続して使用する場合、そのリモコンボックスのレバーの指定は、次のように表示します。





日本樂器製造株式会社